

令和5年度 第4回たかつコミュニティスクール 議事録

日 時	令和6年2月29日（木） 9時30分～11時30分
場 所	神奈川県立高津支援学校 校長室
出 席	学校運営協議会委員8名 事務局12名
問合せ先	副校長 埜崎 真弓 電話 044-865-4921（直通）

1 校長挨拶

ご出席いただき、感謝申し上げます。コロナ収束後、以前の行事が復活し活気が戻ってきている。今年度の中間評価と、来年度からの4年間の目標についてご意見をいただきたい。

本日はよろしく申し上げます。

2 会長挨拶

季節の変わり目で寒くなり、児童生徒・保護者・教員も健康管理が大切な季節。季節が移ろうように、学校運営協議会もうまく進め先のことを見ていきたい。コロナ後は、以前（コロナ前）に戻るわけではない。大事なのは、児童生徒に「どういう学びをさせたいか」ということ。児童生徒にの学びを考え直す機会である。本日はよろしく申し上げます。

3 グループ・学部・分教室 一年間の取組

各GL、学部長より報告

4 協議

・ナツメ球とは何か？

→電球のこと。100円ショップ等で販売しており、袋詰め等の作業を行っている。

・私たちの事業所でも、受注作業として取り組んでいる。

・たかつマルシェは、外部の方も参加できるのか？個人的に（マルシェに）来てみたい。

→今年度初の行事であり、（児童・生徒、保護者の）学校内部関係者のみとした。

・次年度はどうなるか？内部だけで行わなければいけない理由はあるのか？もしくは、児童・生徒の実態を踏まえた事情があるのか。

→校内行事間の（目的に応じた）住み分けをした。また、たかつマルシェは今年度初めての開催であり、模索する中、外部の方は参加しない形とした。児童・生徒の実態を踏まえた事情によるものは特にない。

・内部だけで行うのはもったいない。いかに学校を地域に広げるかは、学校の大事なミッションの一つでもある。

・保護者としてたかつマルシェに参加したが、保護者のみでも会場の人が多く、外部の方も来るとなるともっと大変になるか。会場を拡げる（増やす）か、秋の遊び場のように土日の開催とすることは難しいか。

→学習発表会は舞台（ステージ）発表、マルシェは製品販売、秋の遊び場は地域とのイベントとして行った。

・学習発表会は、他学年・他学部の発表も見たかった。

→体育館のキャパシティの関係で児童・生徒による他学部の観覧は一部制限を設けたが、保護者については制限を設けず、どのステージを見ていただいても可としていた（発表学年の保護者の席をステージ側に優先設定）。そのことが保護者に十分伝わっていなかったことがわかったので、案内の仕方に気をつけ工夫する。

・保護者にも情報がしっかり伝わる周知をしてもらいたい。また、発表の場を体育館に限定せず、教室や廊下も会場にするなど、校舎内をフル活用できないか。特別支援学校におけるセンター的機能について規定する学校教育法第74条では、学校をいかに地域に開いていくかという意図もある。学校としての地域への開き方を考えていけると良い。

・一保護者として、他学年・他学部を見たいという気持ちはよくわかる。知り合いや友達の発表だからという理由だけでなく、上級生の発表を見ることで保護者が子どもの将来を意識できる場ともなる。

・たかつマルシェについて、関係者のみではなく近隣で見たいという方にも開かれると良い。私たちの会社でも近隣の小学校と交流をしている。特別支援教育やインクルーシブ教育に興味のある人に対してもオープンに。もったいない。だが、教員の負担が増えることも心配。外部の力を借りることも大切。我々にボランティアをと言ってくれば、手弁当で対応しても良い。大変だからとするのではなく、考えてほしい。

・子どもたちの発想というのは大人よりもいききしており、大人が学ぶ面がある。（一般校である）中学校よりも特別支援学校の方が先に進んでいる気がする。

・企業は良い人材を求めている。秋の遊び場などに企業にも声をかけ、生徒達を知ってもらうことで雇用につながるように訴えることも可能だと思う。

・各委員からの「～できるか」とは、お願いしたいという意味でもある。ぜひ検討してもらいたい。

→コミュニティスクールにおける皆様のご意見を受け止めた上で、今後進めていきたい。・資料2のP1にある、「『たかつ教育内容系統表』とリンク」させただけでなく、それを公開授業研究会で公表したことは素晴らしい取り組みだと思う。子どもに合わせた支援として見通しを持たせる実践や、日々の学習で学んだことを校外学習等で実際に使ってみて課題を解決する場を設けるなど、大事なことを学校としてしっかりとやっていることは素晴らしい。ぜひ、次のステップに進んでほしい。

・同じ場所への校外学習でも、それぞれねらいが異なるなど、学校ならではの視点を学べた。福祉事業所ではどうしても安全面を最優先に考えてしまうが、学校によるねらいを持った取り組みが地域に知ってもらえると良い。

・スクールバスにAEDは設置しているのか。AED講習の様子を見た。PTAでもやったことはあるが、1、2回やっただけでは覚えられないと感じている。

→児童・生徒が使用するバスには乗せている。AED講習は、毎年講習を行っている。

・清掃技能検定について。検定の内容がどういったものなのか実際に見てみたいと思っている。

見学は可能か。

→主催である特別支援教育課に確認し、後日改めてご連絡する。

・ティーボールとは、どのようなスポーツか。

→画像をもとに説明。

・普段の学校の様子を見たい。

・学校を「見たい」という意見が多い。授業参観は、どの程度行っているのか。

→3年にわたるコロナ禍を経て、今年度久々に保護者や地域に学校を開くことができているからこそ、もう少しという意見もいただけている。今後はそれも踏まえていきたい。

→授業参観は各学期に1回としているが、基本的には保護者はいつでも見学可としている。

・授業をいつでも見て良いと言われているが、全体に周知ができていないのではないかな。知らない方もいる。

→アナウンスはしているが、実際に来る保護者は少ない現状がある。周知が不十分だったかもしれない。

・保護者の中には、自分が見学することで他の子どもが荒れるなどしてしまうのではと気にする方もいると思う。

→(該当する児童生徒のいるクラスには環境設定をしているが)廊下から教室の窓を覗くこともできる。

5 学校評価部会（学校評価アンケート結果）

副校長より報告

6 協議

・職員と保護者を比較した場合、ICT 機器等の活用に関する質問に関し、両方でギャップが見られるようだが。

→ICT 機器の活用については、日常的に触れている教員と、実感の少ない保護者とではギャップが生じてしまう傾向があり、それは他の調査でも同様の傾向が見られる。実際に見てもらうことでこのギャップは少なくなると思われる。

・項目 11 の「交流」とは、何を指すか。

→近隣の小中学校や地域との交流と捉えているが、誰と誰の交流なのか明確な文言ではないので今後整理が必要である。

・保護者同士も情報共有の場としての意味も含めて交流を望んでいる。PTA で場を設けてもなかなか集まらない実情もあるが。

・交流について、生徒や保護者、地域との交流など、誰と誰の交流なのかを整理してほしい。

7 令和6年度から令和9年度の目標及び令和6年度グランドデザインについて

校長より報告

8 協議

- ・開校 50 周年の内容について、イメージはあるか？PTA が関わることもあるのか。

→今後 4 年間で検討していきたい。グランドデザインを含め、4 年間の目標については正式には次年度に改めてお諮りする。何かご意見等あれば連絡いただきたい。

9 学校運営の承認

10 校長挨拶

たくさんの意見をいただくことができた。改めてお礼を申し上げるとともに、引き続き本校の教育活動へのご協力をお願いしたい。来年度も様々なことにチャレンジしていきたいと考えている。

学校運営についての評価を行うために、第三者評価というものがある。本校では、コミュニティスクールの学校評価部会に組み込む形で 2 名を選出し、客観的な評価を依頼する形をとる予定である。

書道家の金澤翔子氏の書の寄贈があり、児童・生徒が目にすることが多い場所に展示した。

本日はありがとうございました。

【事前配付資料】

- 令和 5 年度グループ年間活動シート（年間評価）
- 令和 6 年度グランドデザイン

【当日配付資料】

- 令和 5 年度 第 4 回たかつコミュニティスクール開催要項
- 令和 5 年度 グループ・学部一年間の取組
- 令和 5 年度 学校評価アンケート結果
- 令和 5 年度 学校評価（年間評価）
- 令和 6 年度から令和 9 年度の目標（案）
- 学校だより「スマイルのたね」第 69～72 号